札幌市火葬場に係る料金制度の考え方（素案）について【参考資料】

見直し後の料金と収支予測(一例)

1　見直し後の料金

札幌市火葬場に係る料金制度の考え方（素案）に基づき、負担割合をランニングコストの50%として試算した場合、火葬炉使用料及び特別控室使用料は以下の金額になります。（見直し後の料金額については、市議会での議決を経て決定します。）

	火葬炉使用料 （12 歳以上の火葬）	特別控室使用料
市　　民	16,000 円	5,000 円
市民以外	54,000 円	23,000 円

2　収支予測

上記金額を用いて令和５年度（2023 年度）実績で試算すると、料金の改定と控室使用率の回復により、火葬炉使用料及び特別控室使用料の収入の合計は約 1.8 億円改善（増収）すると予測されます。

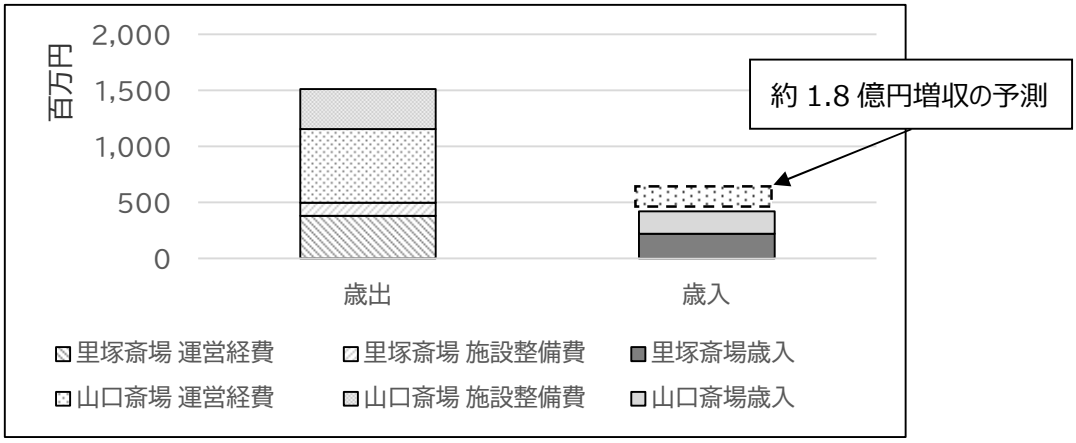
【令和５年度実績】

4.16 億円

【見直し後】

5.94 億円

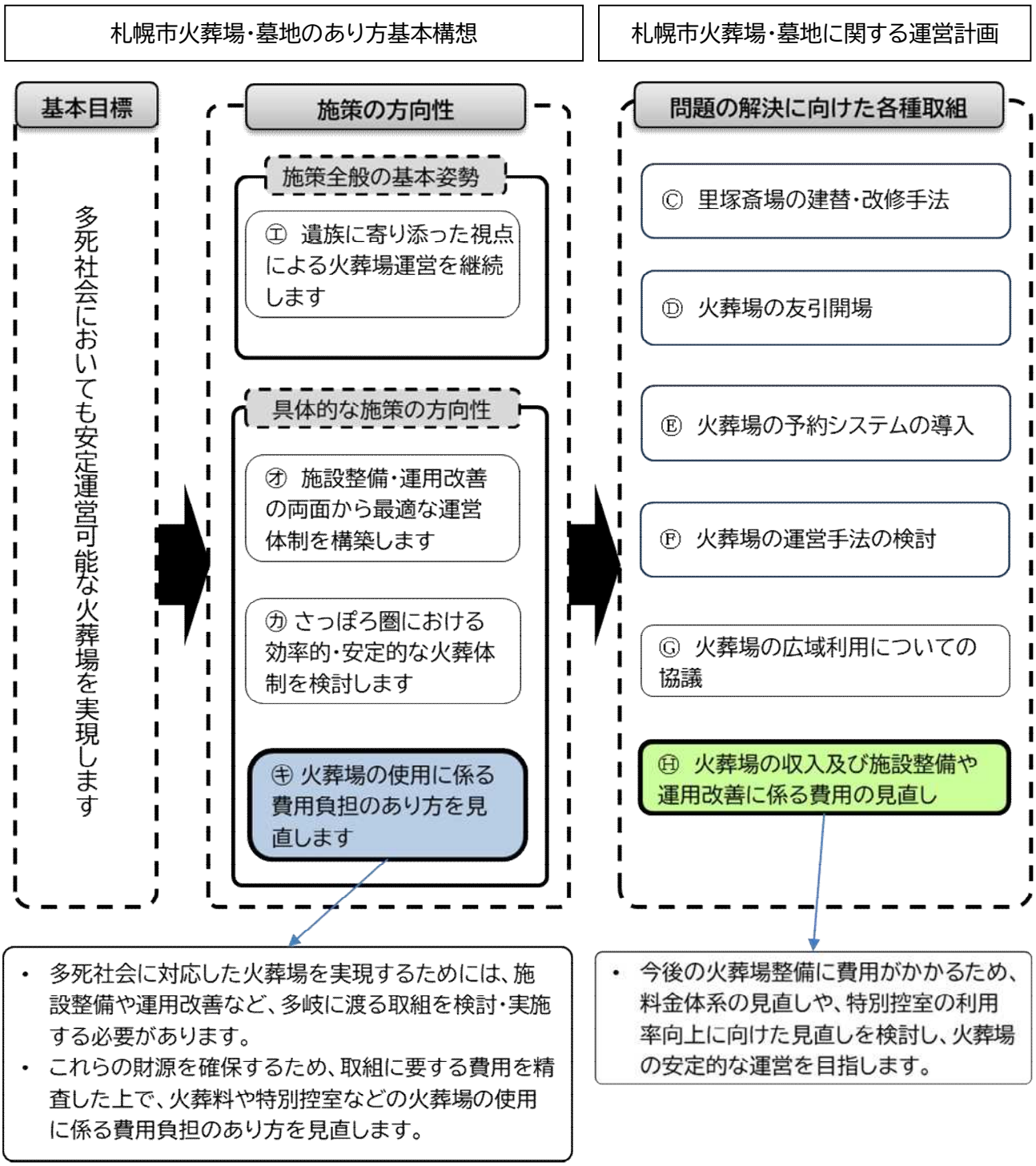
※　市民の特別控室使用率は他都市の事例から、67%程度に回復する予測としています



生活保護受給者等が利用できる制度

生活保護受給者等については、要件を満たした場合、葬祭扶助（そうさいふじょ）の枠組みの中で、火葬料を含めた葬祭に必要な実費が支給されます。

運営計画等の内容（抜粋）


札幌市火葬場・墓地のあり方基本構想
札幌市火葬場・墓地に関する運営計画
基本目標
多死社会においても安定運営可能な火葬場を実現します
施策の方向性
施策全般の基本姿勢
㋓ 遺族に寄り添った視点による火葬場運営を継続します
具体的な施策の方向性
㋔ 施設整備・運用改善の両面から最適な運営体制を構築します
㋕ さっぽろ圏における効率的・安定的な火葬体制を検討します
㋖ 火葬場の使用に係る費用負担のあり方を見直します
問題の解決に向けた各種取組
Ⓒ 里塚斎場の建替・改修手法
Ⓓ 火葬場の友引開場
Ⓔ 火葬場の予約システムの導入
Ⓕ 火葬場の運営手法の検討
Ⓖ 火葬場の広域利用についての協議
Ⓗ 火葬場の収入及び施設整備や運用改善に係る費用の見直し
・ 多死社会に対応した火葬場を実現するためには、施設整備や運用改善など、多岐に渡る取組を検討・実施する必要があります。
・ これらの財源を確保するため、取組に要する費用を精査した上で、火葬料や特別控室などの火葬場の使用に係る費用負担のあり方を見直します。
・ 今後の火葬場整備に費用がかかるため、料金体系の見直しや、特別控室の利用率向上に向けた見直しを検討し、火葬場の安定的な運営を目指します。